

市役所代表電話

☎0422-45-1151

困りごとの相談は **市民相談専用電話**

☎0422-44-6600

あなたのご意見を **市民の声専用FAX**

FAX 0422-48-2810

子どもを見守る **安全安心メールの登録**

☑maam@req.jp

あてに空メールを送信してください



「みる・みる・三鷹」武蔵野三鷹ケーブルテレビ5
第291回(8月3日~16日)
自治体経営白書2008を発行/五小防災キャンプ
放送時間/8:30 12:30 19:30 21:30



「おはよう!三鷹市です」FMむさしの 78.2MHz
放送時間/月~金曜日 10:20~10:25

人口と世帯 平成20年7月1日現在

住民登録者数:175,623人 男:86,761人/女:88,862人

外国人登録:3,271人 世帯:86,817世帯



インドネシア・ニアス島展

展示 8月27日(水)~31日(日)
午前10時~午後6時(31日は5時まで)

主 ニアス島ネットワークプロジェクト

所 芸術文化センター

申 期間中会場へ

2004年、2005年のスマトラ島沖地震で大きな被害を受けたニアス島の伝統的な文化財を展示します。グローバルizmの中で変化するニアス島の今を紹介します。

いきもの? どうぐを作ろう「カラー粘土で身近な道具を生き物にしよう」

小学生のお子さんと保護者20人

8月28日(木)午後2時~4時、8月29日(金)午後1時~3時 ¥500円(材料費)

挑戦! ニアス編み「ニアス島のカゴを参考にして、一緒に編んでみよう!」

15人 8月31日(日)午後1時~3時 ¥500円(材料費)

ギャラリートーク「島の力 - ニアスの現在と過去」

講師はニアス島ネットワークプロジェクトの西田昌之さん。

20人 8月28日(木)午後1時~1時30分

講演会「人間は智者か愚者か:インドネシアの世界遺産は語る」

講師は国際基督教大学アジア文化研究所客員所員の染谷臣道さん。

60人 8月30日(土)午後1時~3時30分

いずれも芸術文化センター

申 当日会場へ。 8月19日(火)必着までに往復はがきまたはメールに必要事項(11面参照)とメールアドレス、参加するワークショップ名と日程を記入し、「〒181-8585国際基督教大学本館255号室アジア文化研究所ニアス島ネットワークプロジェクト係」・☑niasproject@yahoo.co.jpへ(先着制)

同研究所 ☎33-3179、企画経営室 ☎内線2116

川上郷 自然の村

☎0267-97-3206

FAX 0267-97-3207

HP <http://www.sizennomura.jp/>

[体育館・グラウンドなど完備]

JRをご利用の方は、最寄駅(信濃川上駅)まで車で送迎します。宿泊申込の際にご予約ください。

暑い夏は川上郷でリフレッシュ!

夏休み中の空室は残りわずか!

夏休みの思い出作りに、ぜひ、川上郷自然の村をご利用ください。

空室状況は電話でもお知らせしています。



明野ひまわり畑

お申し込み

宿泊希望日の3日前までに電話(午前8時30分~午後7時30分)インターネット、ファクスで。

11月分の優先申し込み(団体分)

15人以上の団体受付は、8月15日(金)午前8時30分から申込用紙に必要事項を記入して「〒384-1406川上村大字原591-362」・☎0267-97-3207へ(郵送の場合は先に電話で仮予約をしてください)。

団体優先申込用紙は(財)川上村振興公社が管理・運営する、自然の村ホームページからダウンロードできます。

料金(1泊2食付)

大人3,500円から
小学生2,400円から
チェックイン時に現地払い。

太宰治賞受賞の永瀬直矢さん寄稿文



『ロミオとインディアナ』で第24回太宰治賞を受賞した永瀬直矢さんが、6月22日に行われた太宰治朗読会に合わせて三鷹を訪れた時の印象を寄稿してくださいました。



第24回受賞者 永瀬 直矢さん

「ばちゃん」と言がしてブーツの爪先になにが当たったなと思つたら小さな石礫でした。何処ぞから落ちてきたらしく、見上げると頭上の葉簾がかすかに揺れています。太宰の墓前で手を合わせて立ち上がった直後のことです。もしや、おまえは受賞に値しない」という拒絶的メッセージでは?と訝りましたが、それなら私が禅林寺の境内や墓地に足を踏み入れたときにやってくれてもよさそうなんです。と、そこまで考えて斜め後ろに視線を感じました、というのは嘘ですが、もしかしたら斜向かいの森先生が、順番ちやうやろ」とお怒りなのかと思ひそちらにも慌てて参拝致しました。自分を無理くり大日本文学史に組み込む愉しい妄想で御座いました。失礼しました。

でもそんな気分にもなるつもりです。しつこく雨のなか案内して頂いた太宰所縁の場所は残念ながらほとんどが建替えられてしまったが、横丁のどこかところに見える黒ずんだ古い板壁が、瘦身を屈めて下駄を引く覚束ない足取りの文士の姿を思い起こさせてくれます。その後ろ姿を追って玉川上水沿いに出くわした山本有三記念館の壮麗さに見惚れていると、「この家の前を通って太宰は駅前に通っていたんです」という説明門前で、けつ、つて唾吐いてる図が勝手に浮かびました。当時太宰の目に映る三鷹界隈の様子は国木田独歩が見たものとはかなり違っていたでしょうが、駅前の雑踏を抜ければまだワースワースな景色を見渡すことができたはずで、いわば新旧の武蔵野の境界を日々往來していたわけ。

そんなことを考えながら再び風の散歩道に戻り、鬱蒼と茂る木々を通してまんなまトトロに出てきてつな赤い屋根の木造家屋を見たとき、私の中にも一瞬どこか懐かしい往時の風景が広がりました。このときの心象はたぶん私自身の幼い頃の記憶にも繋がっていたと思います。「あと一年早けりやな」とは受賞後に親戚が集まった祝いの席で従兄弟が私にいった言葉でした。ちょうど一年前の六月に亡くなった叔母が、ジブリ美術館の方角とは逆、上流の隣町に住んでいて、バス停から橋を渡るたび、子供心にこの流れのどこかで太宰が死んだのだなあと思うことが何度かあったんです。

三鷹阿波おどり

主 三鷹阿波踊り振興会
所 三鷹南口駅前商店街
問 同会事務局 ☎49-3111

三鷹の夏の風物詩「三鷹阿波おどり」では、市内・市外のおよそ30連が踊りの競演を繰り広げます。お誘い合わせのうえお越しください。

8月9日(土)	開会式	午後5時35分から
	阿波踊り	午後6時から
10日(日)	乱舞	午後8時50分~8時55分
	阿波踊り	午後6時から
	乱舞	午後8時30分~8時35分
	表彰式	午後8時40分から

